

ゆすはら大学 第17回講座 案内

茅葺き屋根と技の伝承を考える

ゲスト：川上義範親方、西予市・浅井裕史課長

上本村の川上義範さんが昨年、四国でただ一人の茅葺き親方として、県産業技術功労者の表彰を受けました。また、親方は3年前のゆすはら大学に登壇くださり、それを契機に取材を始めた役場OB・大崎光雄著「茅葺き伝」が出版されました。同書には西予市の招きで葺き替えとボランティアの指導に当たる川上さんの紹介がされています。

親方は技の伝承をどう考え進めてきたのか、西予市の取り組みをどのように感じてきたのか、などについて率直に語って頂きます。また、西予市教育委員会スポーツ・文化課の浅井裕史課長をお招きし、親方招聘の経過や実践活動をお聞きして、今後の梶原町の取り組みの参考にさせて頂きたいと考えました。

日本（梶原）の原風景を未来に繋ぐ講座です。材料となる良き茅を確保するため、以前のように山焼きが大事という声も聞かれます。ご意見を出して下さいと嬉しいです。お繰り合わせの上、是非ご参加ください。

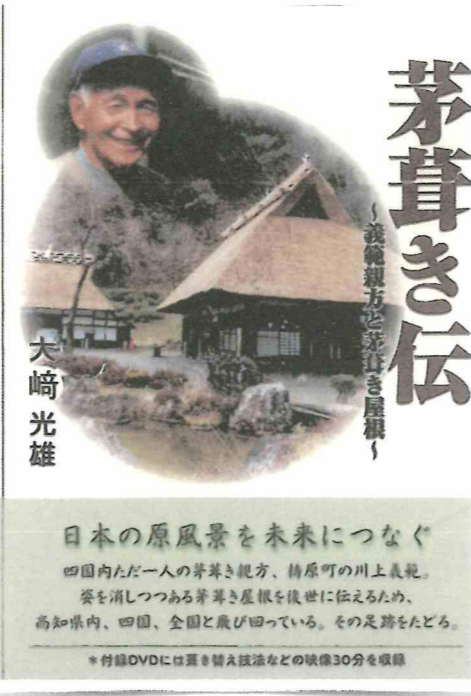
日時：2月18日（土）10:00～12:00頃まで

場所：ゆすはら夢・未来館 2階大ホール

入場：無料

※マスクを着用するなど、基本的なコロナ対策をしてご参加ください。

お問い合わせ:ゆすはら大学事務局 岡村聖司 090-7287-2048



図書館イベントのお知らせ

雲の上の映画会『孤独なふりした世界で(2018)』

定員:15名



令和5年2月5日(日)

時間 13:00～15:00

世界を終わらせた”あの時”を生き延び、たった一人で町の図書館に住むデル。日々遺体の埋葬をしながら静かで孤独な生活を送っていた彼の元に、ある日一人の少女が現れる。お互いの価値観がぶつかりながらも人間らしい交流を取り戻した彼らを、衝撃の事態が待ち受けていた。図書館カウンターまたは電話で予約受付中。定員に達し次第受付を終了します。

人と人を繋ぐ、世界のボードゲームで遊ぼう

令和5年2月12日(日)

時間 14:00～16:00

世界中でその価値が見直されているアナログゲーム。愛媛県川町でボードゲームカフェを運営する小泉英一郎さんを迎え、子どもも大人も一緒に楽しめる、魅力的なゲームを多数紹介していただきます。初めての方でも安心、プロのレクチャーですぐに参加できます。



驚きの新技術！てくテックすききショーケース

令和5年2月26日(日)

時間 13:00～17:00

遊びながら時代の最先端技術を体験しよう！須崎で子どもたちに大人気のスポット、てくテックすききスタッフの皆さんが、VRやイラスト制作などの機材を紹介してくれます。大人も子どもも一緒に遊びながら、好きなことがきっと見つかる大好評ワークショップの2回目です。



高知県における新型コロナウイルス警戒レベルが引き上げられた場合、また梶原町内の感染状況により開催を中止することがあります。その際は町内放送でお知らせいたします。入館時には手指の消毒、マスクの着用をお願いいたします。また、体調がすぐれない方は参加をご遠慮いただきますよう、お願いいたします。お問い合わせ：0889-65-1900





リモリマンスリー



皆さん、こんにちは。町内の林業関係者で作る榊原令和の森林づくり協議会（通称リモリ）から『リモリマンスリー』で活動内容をお知らせします。今号では新年の挨拶を申し上げます。

森林の文化創造推進課とほぼ同時に立ち上がった協議会リモリが、3度目の初春を迎えました。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

ことは卯年ですが、リモリは昨年一足早く「小さく」跳ねたように感じます。それは協力隊員が2名から6名へ一挙に増えたこと、更に彼らが地帯な取り組みを始めてくれたことに起因します。それを森林組合の若い職員がサポートしてくれたことも嬉しく感じました。

年末に森林の文化創造推進課の立道課長と年間総括の時間を持ちました。課長の表現では、榊原令和の森林づくりは「3合目」を登っています。スタート前に実施した町民アンケートで、一定数の人たちが「広葉樹の広がり」を期待していることが分かりました。

それを受けて、今までになかったイベントを始めました。テレビ塔の南東斜面や太郎川公園内の人の目に触れ易い場所に、親子でサクラなどの広葉樹を植えました。4月末の協働の森づくり事業も皆伐地に場所を移し、植林作業に衣替えしました。町民の皆さんの参加も多く、将来のイメージを少し共有できるようなったのではないでしょ

うか。春の役員会で、川上周一副会長から、次の発言がありました。「かつて古老から聞いた。スギ・ヒノキは山中腹まで、その上は雑木を残す。山づぐりの基本。今後はそうありたい」と。山の中腹から上部にシイやカシ類が多ければ、ドングリの実が動物の餌になり、生物多様性にも繋がります。一方で、スギ・ヒノキ（経済林）の再造林も続け、林業の生業をしっかりと回してゆくことも大事です。

同じ会議で立道課長から「当初計画は5年で担い手20人の確保でした。もう少しピッチを上げないと・・・」と発言がありました。課長は引き続き気合が入っています。

榊原令和の森林づくり協議会 ReMORI（リモリ）会長 笹岡高志

卯年は更に大きく跳ねたい！出身の角金玄さんが、6月末で3年間の任期を終えます。当初は体力的に厳しかったと聞きましたが、1年を過ぎる頃には胸板が厚くなり、体つきが変わりました。招聘した樹木医グループに刺激を受け、コモリの仲間に入っ活動する中で、特殊伐採に興味とやり甲斐を感じたようです。遠方の研修にも参加し、資格も取りました。また、後輩隊員への気遣いも充分に果たしてくれています。その彼がしっかりと榊原に定住できるようサポートすること。これが今年のリモリの大きな仕事です。

協力隊の1月予定表を見ると13日に東京で「榊原町未来の森林づくりカーンファレンス」が予定され、4名の隊員が参加します。矢崎総業やモアツリズなど榊原町と協働の森づくり等に取り組みんできた環境先進企業や団体に若い人たちから直接「榊原の新しい動き」を伝えてくれることとなります。参会の皆さんはきつと新鮮な感覚で報告に耳を傾けてくれるでしょう。続く14、15日には同じ東京で「移住・交流フェア」が開催されます。4人は「榊原はいいよ！」と大いに勧誘してくるはずです。

1月4日に未来館大ホールで開かれた「仕事始め式」で、吉田町長は次の様に呼びかけました。「榊原町は昨年四国で唯一の脱炭素先行地域に認定されました。太郎川公園にバイオマス発電所を建設し、発電に加えて熱利用の計画を進めます。ペレットを増産し、再造林も含めた森林の循環に取り組みたい。皆さんの協力をお願いします」と。卯の年に大きく跳ねるため、協力隊員が立ち上げた「キリカブ」、若手と中堅の担い手「コモリ」、そして高齢者の「リモリ」に、本年も一層の力を添えを賜りますよう、よろしくお願いたします。



▲支障木伐採の風景

榊原町若手林業研究会 CoMORI（コモリ）会長 谷田真吾

謹んで新春のお慶び申し上げます。昨年末の大雪により、久しぶりに榊原らしいお正月を迎えました。一方、高知市では観測史上1位を記録する程の積雪で、一面の銀世界に目を奪われる余裕も無く、慣れない積雪に大混乱を極め、文字通り記録にも記憶にも残る大雪になりました。

さて、我がコモリの昨年は、民家に倒木の危険のある支障木の伐採を始め、森林イベントへの参加やメディアへの出演、他団体との交流など、多方向に渡り活動を行うことが出来ました。支障木の伐採では、ツリクライミングの技術を駆使して行ったり、ラフテレシオンクレーンという大型特殊自動車を使用して行ったり、現場に応じた伐採を重ねる事により、仲間のスキルが確実にアツクしています。

また可能であれば活動後には反省会と称した慰労会を開催します。森を通じて、コミュニケーションをとり、コモリの本領発揮です。本年も宜しくお願いいたします。

ゆすはら地域おこし協力隊 角金玄

リモリマンスリーをご覧の皆さま、新年、明けましておめでとーございます。ゆすはら地域おこし協力隊の角金です。榊原町で迎えた3度目の冬。榊原町では地元・青森にも劣らないほどの大雪が降り、少し懐かしい気持ちになりました。2022年を振り返ると、町内事業体での現場研修や造林(植樹イベント)の地帯え(に始まり、夏には安芸市で木のおもちやの製造・販売をしている山のごじら含さんとツリハウスを作りました。

秋には高知市で開催された森のイベントに、榊原の若手林業研究会「COMORI」が出演し、トクシヨイや木工の実演をしました。また、11月にはハイキングイベント「ゆすはらトレイルマツプロジェクト」の第一弾を町内の鷹取山国有林で開催するなど、広い意味での森林づくりに取り組むことができたのではないかと思います。

私の地域おこし協力隊の任期も残り半年となりました。任期終了後に向けて、これまで以上に林業・森林づくりに取り組んでいきますので、2023年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



▲ゆすはらトレイルマツプロジェクトの風景

歴史のふるさと太郎川公園 ふるさと市場 出店者募集

【募集内容】

- 物件 ふるさと市場 5小間 (1小間の面積 9m²)
 施設使用料 月額1千円
 電気使用料 小間の使用電力量により算出された額
 申込み資格 ①梶原町内に住所を有する個人、事業者
 ②町税等の滞納がない者
 出店条件 土日・祝日のほか町内イベント開催時は特に
 率先して開店すること(その他条件あり)
 使用期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日
 申込方法 産業振興課にある「申請書」によりお申込み下さい
 申込期限 令和5年2月17日(金)17時まで
 (平日 8:30～17:00受付)

*応募内容を審査のうえ、決定します。



問い合わせ先
 梶原町産業振興課 商工観光係
 電話 65-1250

歴史のふるさと太郎川公園 きつつき学習館 出店者募集

【募集内容】

- 物件 太郎川公園きつつき学習館
 1F ショップスペース (面積 約24m²(倉庫16m²))
 2F カフェスペース (面積 約56m²)
 施設使用料: 月額 各1万円
 電気・水道使用料: スペースの使用量により算出された額
 申込み資格: 日本国内に住所を有する個人、事業所
 出店条件: 金土日・祝日は必ず営業し、年間260日以上開店、
 そのほか町内イベント開催時等は率先して開店する
 こと等
 契約期間: 令和5年4月1日～令和6年3月31日
 (以降協議の上更新)
 申込方法 産業振興課にある「申請書」によりお申込み下さい。
 申込期限 令和5年2月17日(金)午後5時まで
 (土・日、祝日は受付できません。)

※上記条件に加え、キャンプ場運営との連携という視点により
 選考会で決定します。



問い合わせ先
 梶原町産業振興課 商工観光係
 電話 65-1250

梶原町学校応援団だより No.3

令和5年1月16日 発行

梶原町学校応援団

梶原町学校応援団の活動をお知らせします。

学校支援部会

11月10日(木)

3年生が総合学習「昔の暮らし」で干し柿作りを行いました。中越明男さん、光恵さんご夫婦からたくさんの柿をいただき、皮を剥く所から熱湯に通し干すところまで自分たちで行いました。

熟している柿は剥くのが難しかったり、結んだ紐が緩くて落ちてしまったりと苦戦しながらも、自分の干し柿を完成することができました。

毎日、色や形の変化を観察しながら、やさしく揉んだりしてとても甘くて美味しい干し柿ができました。



11月21日(月)

梶原学園の持久走大会で、民生委員児童委員の皆さんに交通整理のご協力をいただきました。天気にも恵まれ、沿道からは地域の方や保護者の方からたくさんの温かい声援をいただき、走りぬくことができました。ありがとうございました！



地域活動部会

和太鼓クラブ

今年度は21名の子ども達が参加してくれました。5月から11月まで、大村太郎さんと大崎薫さんにご指導いただき、練習に取り組みました。

梶原町の芸術祭の町民ステージに参加させていただき、地域の皆様の前で練習の成果を披露することができました。

昨年に引き続き、発表の場は少なかったですが、みんなで楽しく活動することができました。



津野山神楽クラブ

今年度は6名の子ども達が参加してくれました。7月から11月まで、津野山神楽保存会の皆さんにご指導いただき、計10回練習しました。

最初は、みんなと合わせて太鼓を叩くのが難しかったり大変でしたが、練習を重ねるごとに上手になりました。練習の最終日には『大蛸』『鯛つり』の演目に合わせて演奏ができて、子ども達も楽しそうでした。



年末特別警戒

地域の消防団の方にご協力いただき、各地域で23名の子どもたちが年末特別警戒(12月27日~12月30日)に参加しました。拍子木を打ちながら消防団の方と一緒に歩いたり、普段は乗ることのできない消防車に乗せてもらったりしました。子どもたちの「火の用心!」との呼びかけに、地域の方から温かい声かけをしていただきました。



○毎朝、地域のボランティアの方に学問坂の交差点で交通安全指導をしていただいています。挨拶を含め、子ども達が安全に登校できるように声かけをしてくださっています。



○毎週木曜日の朝の時間には、絵本の小部屋の皆さんに読み聞かせをしていただいています。子どもたちも楽しみにしていて、いつもおもしろい絵本を読んでくださっています。



放課後子ども教室部会

冬休み子ども部会では、たくさんの地域の方にご協力いただき、ありがとうございました。

今回は、感染症対策で少イベントの内容を変更した部分もありますが、子どもたちがお昼ご飯を作るために必要な食品を買いに行くなど、新たなイベントをすることができました。

12/26(月)	12/27(火)	12/28(水)	1/4(水)	1/5(木)	1/6(金)
・お昼ご飯を作ろう!	・図書館に行こう!	・大掃除	・お雑煮を作ろう! ・初詣	・おやつを買いに行こう! ・大学芋を作ろう!	・映画鑑賞

